



はじまりは？

障がいを持った方々が農業を通して社会参加し、特産品作りや地域住民と交流を図り、共生社会の実現に寄与することを目的としています。



農業体験の様子

おもな活動



障がい者と農作業の様子

障がい者とトマトなどの栽培を行い、そこで取れた野菜を加工し、トマトジュースなどの加工品を作っています。
平成26年3月から「ピピマルシェ」をオープンし、地元野菜の販売、パンやスイーツを作っています。
店は住民の交流の場となっています。

ここが自慢

【ソーシャルファームで地域の活性】

農業単独ではなかなか経営が難しい時代ですので、農業の6次産業化を目指し、そこに障がい者の働く場を広げていく取組をしています。

農業従事者の高齢化で農業人口が減少していくので、障がい者とその担い手の一つになれるようなモデルを構築していきたいと思っています。

また、これからは障がい者だけでなく、引退した農業者が障がい者に農業を教えたり、地元の小・中学生が農業体験をできる取組にも力を入れていきたいと考えています。

地元農産物を活用した特産品の開発や地元住民の交流など農業を通して地域の活性化や地域の発展に寄与できるよう取り組んでいきたいと考えています。

※ Social Firm(ソーシャルファーム): 健常者も障がい者も共に働ける会社



ピピマルシェ店内

データ

■代表者: 亀海 聡さん / 設立: 2010年 / 会員: 10名

■連絡先: 北海道上川郡比布町基線4号

■電話: 0166-85-3722

■FAX: 0166-85-3735